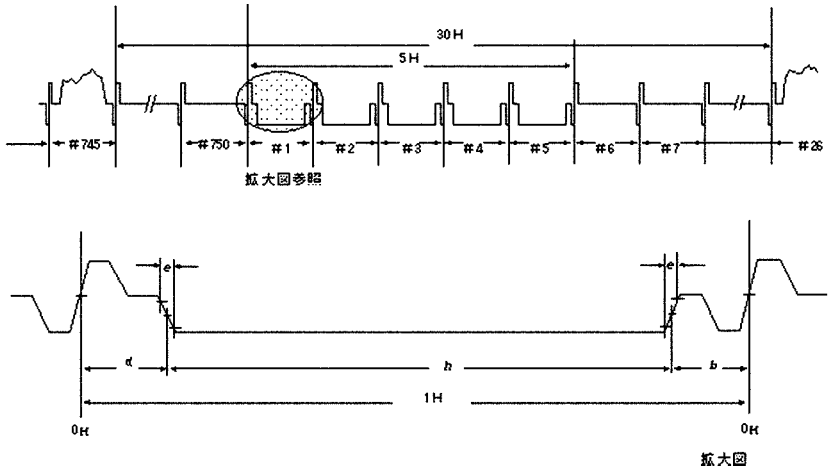
6　走査線数が750本であって、走査方式が順次の場合の垂直同期信号

⑴　垂直同期信号の波形



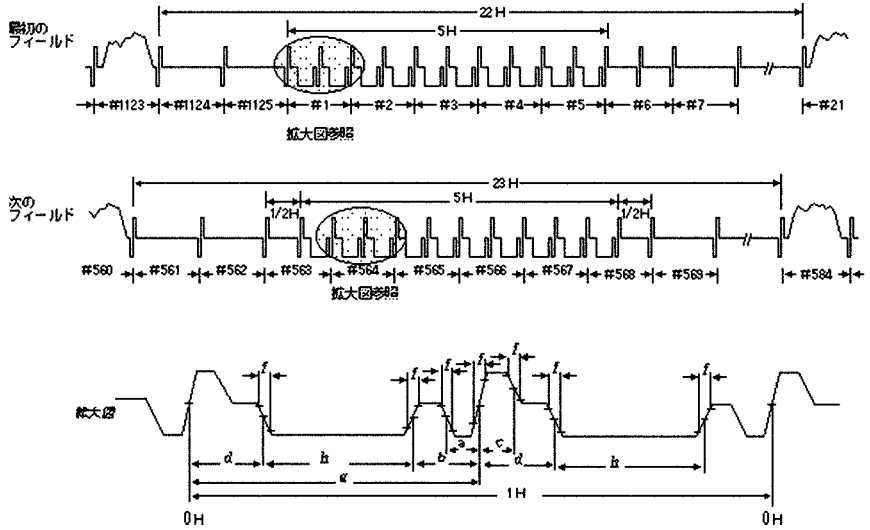
⑵　垂直同期信号の許容範囲

記号	項目	許容範囲
H	1ライン期間（T）	1650±0
h	垂直同期パルス幅（T）	1280＋0 −12

注　Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。

7　走査線数が1125本であって、走査方式が1本おきの場合の垂直同期信号

⑴　垂直同期信号の波形



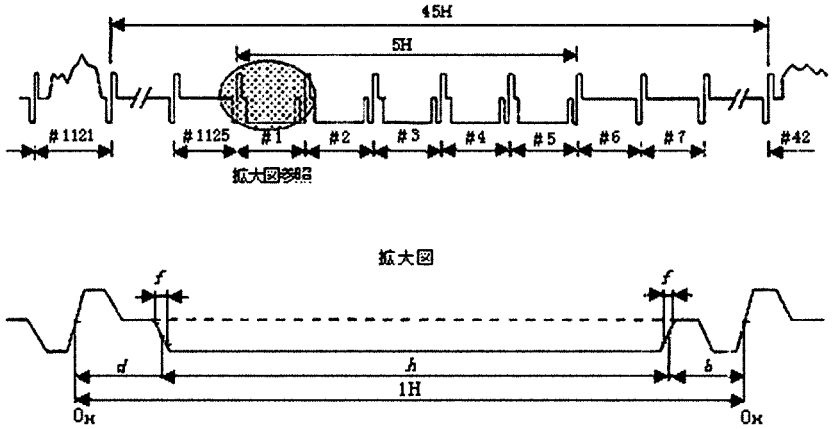
⑵　垂直同期信号の許容範囲

記号	項目	許容範囲
H	1ライン期間（T）	1650±0
g	1／2ライン期間（T）	1100±0
h	垂直同期パルス幅（T）	880±3

注　Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。

8　走査線数が1125本であって、走査方式が順次の場合の垂直同期信号

⑴　垂直同期信号の波形



⑵　垂直同期信号の許容範囲

記号	項目	許容範囲
H	1ライン期間（T）	2200±0
h	垂直同期パルス幅（T）	1980±0

注　Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。

別図第四　水平走査の繰返し周波数及び標本化周波数の許容偏差（第4条第2項第2号、第4条第3項第2号、第4条第4項第2号及び第4条第5項第2号関係）

区別		許容偏差（百万分率）				
走査線数		525本		750本	1125本	
走査方式		1本おき	順次	順次	1本おき	順次
水平走査の繰返し周波数f_H		15.750／1.001 kHz　±3	31.500／1.001 kHz　±3	45.000／1.001 kHz　±10	33.750／1.001 kHz　±10	67.500／1.001 kHz　±10
標本化周波数	輝度信号	13.5MHz ±3	27MHz ±3	74.25／1.001MHz　±10		148.5 ／ 1.001 MHz　±10
	色差信号	6.75MHz ±3	13.5MHz ±3	37.125／1.001MHz　±10		74.25 ／ 1.001 MHz　±10